

「あたりまえ」が「ありがとう」に変わった。愛着と誇りが生まれた。

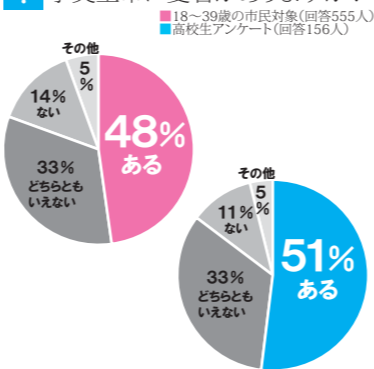
総合戦略
20ページ

地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる。

1. 地域資源を活かす
～見つけて磨いて光をあてる～
2. 公民連携に光をあてる
～みんなで磨く～
3. 新たな地域デザインを見つける
～みんなで光る～



？ 小美玉市に愛着がありますか？



小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査

「ありがとう」の反対は「当たり前」前なんだから。東京の彼が言うには、小美玉は「有る」のが難しいコト・モノがいっぱいある。ちっちゃい頃から地元の牛乳を飲んで育った。納豆、卵、イチゴ、ブルーベリー、ニラ、レンコン、etc. 食べ物だけじゃない。アタシが太鼓を始めたのも、クラスに太鼓奏者が来て、惚れ込んだのがきっかけ。それに、仕事が終わってからも茨城空港から旅に出られる。それと、アタシの大好きな風景ダイヤモンド筑波。改めて知る、小美玉の恵み。そうしてみると、「有り難い」ことだらけに気づく。切り拓いた先人たちによって、いまのおいしい食卓がある。太鼓との出会いも、全クラスに派遣する小美玉の文化政策だと知った。いろんなことに気づいたら、自分でも何かをいたくなくなった。彼いわく、それが「シビックプライド」ってヤツらしい。

小美玉の恵みに気づいたら、アタシの心に誇りが生まれた。

…このマークは政策分野の重点プロジェクトで、マーケティングと物語性によるアプローチをしています。

施策01 文化のまちのストーリー

文化芸術によるシビックプライド醸成
小美玉市まるごと文化ホール計画
本が身近にあるまち事業

施策02 空のエリアの活性化

空のイメージづくり事業
インバウンド向け旅行情報提供

施策03 陸の交流エリアの活性化

JR羽鳥駅及び駅前広場整備事業

施策04 水辺のエリアの活性化

サイクリングロードパーク事業
水辺のイベント事業
霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備事業

施策05 おみたまブランドの確立

魅力創造発信事業
ヨーグルトサミット・スイーツフェスタ開催
FOREST FARM事業
農家レストラン事業
6次産業化支援事業

施策06 交流の活性化

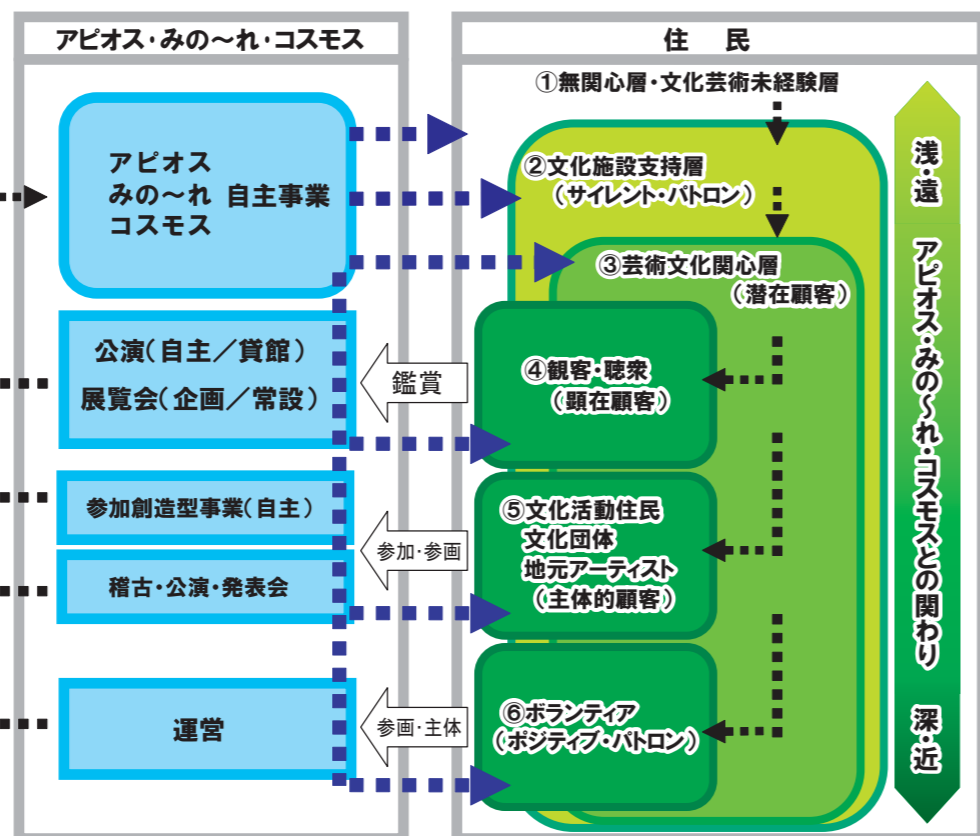
小美玉ファンクラブ拡大事業
身近なみどり体験事業
市長と市民のランチミーティング事業

施策07 自由度の高い公民連携の促進

プロジェクトチームの組織化
民間事業者コラボレーション事業

施策08 行政区の新たな仕組みづくり・見える化

移住者向けコミュニティ情報発信事業
まちづくり組織支援事業の拡充
コミュニティ拠点づくり事業
まちづくり基金の設立



小美玉市の文化のサイクルマップ

